

2019年8月 病害虫発生予察情報の 発表状況(警報・注意報・特殊報)

8月1日から31日の間に都道府県から発表された病害虫発生情報のうち、注意報及び特殊報の発表状況を一覧表にしました。

情報の詳しい内容は、都道府県病害虫防除所のホームページでご確認いただけます。また、当協会の有料情報サービス「JPP-NET」では、全ての発生予察情報の全文を提供しています。

【警報】

発表日	都道府県名	作物名	病害虫名
8月19日	宮崎県	水稻	トビイロウンカ

【注意報】-水稻

発表日	都道府県名	作物名	病害虫名
8月1日	茨城県	水稻	クモヘリカメムシ、イネカメムシ
8月1日	佐賀県	水稻	トビイロウンカ
8月1日	宮崎県	水稻	トビイロウンカ
8月2日	北海道	水稻	アカヒゲホソミドリカスミカメ
8月2日	福岡県	水稻	トビイロウンカ
8月6日	香川県	水稻	斑点米カメムシ類
8月7日	大分県	水稻	トビイロウンカ
8月8日	山形県	水稻	斑点米カメムシ類
8月9日	広島県	水稻	トビイロウンカ
8月9日	愛媛県	水稻	斑点米カメムシ類
8月13日	長崎県	水稻	トビイロウンカ
8月16日	秋田県	水稻	いもち病
8月16日	和歌山	水稻	トビイロウンカ
8月16日	山口県	水稻	トビイロウンカ
8月16日	長崎県	水稻	いもち病
8月19日	秋田県	水稻	斑点米カメムシ類
8月21日	岡山県	水稻	トビイロウンカ
8月21日	鳥取県	水稻	斑点米カメムシ類
8月22日	山口県	水稻	斑点米カメムシ類
8月23日	福岡県	水稻	トビイロウンカ
8月27日	福岡県	水稻	いもち病
8月28日	愛媛県	水稻	トビイロウンカ
8月29日	高知県	水稻	斑点米カメムシ類
8月29日	高知県	水稻	トビイロウンカ
8月29日	鹿児島県	水稻	トビイロウンカ

【注意報】-野菜、他

発表日	都道府県名	作物名	病害虫名
8月2日	愛知県	キャベツ	シロイチモジヨトウ
8月6日	香川県	ネギ、アスパラガス、キクなど	シロイチモジヨトウ
8月15日	岐阜県	果樹	果樹カメムシ類
8月16日	長崎県	いちご	ハダニ類
8月22日	香川県	カキ、キウイフルーツ、カンキツ等	果樹カメムシ類
8月23日	山梨県	モモ	せん孔細菌病
8月23日	和歌山	ミニトマト、トマト	黄化葉巻病
8月23日	沖縄県	イネ牧草、さとうきび	アフリカシロナヨトウ
8月26日	京都府	ネギ、豆類、野菜類	シロイチモジヨトウ
8月30日	福島県	モモ	せん孔細菌病
8月30日	福島県	ナシ	黒星病

【特殊報】

発表日	都道府県名	作物名	病害虫名
8月1日	奈良県	モモ、ウメ、オウトウ、スモモ、サクラ等	クビアカツヤカミキリ
8月5日	佐賀県	トウモロコシ	ツマジロクサヨトウ
8月20日	茨城県	飼料用トウモロコシ	ツマジロクサヨトウ
8月20日	高知県	トウモロコシ	ツマジロクサヨトウ
8月23日	広島県	トルコギキョウ	白さび病(仮称)
8月23日	岡山県	飼料用トウモロコシ	ツマジロクサヨトウ
8月23日	福岡県	飼料用トウモロコシ	ツマジロクサヨトウ
8月23日	鹿児島県	ミニトマト	クロテンコナカイガラムシ
8月28日	千葉県	飼料用トウモロコシ	ツマジロクサヨトウ
8月29日	山口県	飼料用トウモロコシ	ツマジロクサヨトウ
8月30日	茨城県	トルコギキョウ	斑点病

◆トルコギキョウ白さび病(仮称)

本年7月、広島県内栽培施設にて、葉と茎に白色～クリーム色のさび様の病斑が生じている株を確認、診断の結果、*Pustula centauri*を病原とするトルコギキョウ白さび病と同定。本病は、平成29年に山口県で初確認されている。

(写真・コメント文は県発表内容より引用)

(写真)葉の病徵



⌚ 病害虫発生状況トピックス

●トビイロウンカ 西日本中心に多発

トビイロウンカの発生が、平年を大きく上回り多発している。9月11日までに17県延べ27件の注意報、警報が発令された。愛媛県、福岡県、熊本県、宮崎県及び大分県では、圃場発生率や生息密度が非常に高いことから警報を発令している。

早生品種などでは既に「坪枯れ」も発生している。適切な防除と、「坪枯れ」が発生した場では、可能な限り収穫を早めるよう、注意がなされている県もある。



群がるトビイロウンカ(成虫)



既に坪枯れとなった水田

●ツマジロクサヨトウの発生が急速に拡大

日本への進入警戒の記事を5月頃に紹介したところであったが、7月3日に鹿児島県にて初めて発生が確認された。その後、長崎・大分・熊本・宮崎・沖縄・佐賀県の九州地域で発見され、茨城県、高知県、岡山県、福岡県、千葉県、山口県、愛媛県、福島県、神奈川県、三重県、広島県と急速に分布が拡大している(9月11日現在、発令県順)。国内では飼料用トウモロコシでの被害が主であるが、スイートコーンやソルガムでも確認されている。

農水省では、まん延防止にむけ、発生状況の把握、薬剤による防除(植物防疫法第29条第1項の規定による)、作物ごとの防除マニュアルの策定などを進めている。



スイートコーンの被害

●クビアカツヤカミキリの被害 さらに拡大

本年7月、奈良県のモモ生産園で成虫が捕獲された。2012年に愛知県で発生が確認されて以降、埼玉県、群馬県、東京都、大阪府、徳島県、栃木県に続き、奈良県となり、分布が拡大している。

県行政や市のホームページでは、クビアカツヤカミキリへの注意呼びかけや対処に関する情報を掲載している。昨年より薬剤登録も進められており、成虫の捕殺、排糞孔への薬剤注入、ネットのなど被害拡大防止のための対処方法とともに、発見した場合の情報提供も呼びかけている。



被害樹木 大量のフ拉斯

※写真は、県情報等から引用